

東洋医学とバイオイザーについての考察と評価について

はじめまして、岡山市内にてデイサービスセンターおよび訪問マッサージを営むあん摩マッサージ指圧師の米戸と申します。

我々が考えます東洋予防医学の基本スタンスは、患者様やご利用者様の単なる症状別の疼痛緩和ではなく、人としての関わりを通して信頼関係の元で、その方の真の辛さを改善し、やる気を引き出し、人が本来持っている『自然治癒能力』を高めることが大きな施術目的の一つです。

また、我々が生きているこの地球自体が大きな磁場の中に存在し、太古の時代から我々は生まれながらにして『磁気』の恩恵を受けてきたのです。しかし近代化した社会は利便性の名のもとに世に鉄製品を多く生み出しました。磁気は鉄に吸収されてしまうため、結果として現在人は慢性的な磁気不足となっていると思われます。夏に水分が必要なように、我々の生活にも磁気が必要だったのです。

また『バイオイザー』の持つ磁気治療としての効果の中の『癒し』『揺らぎ』『暖め』の作用が、治療を受けている人に『効いている』と感じさせます。実はこの効果が絶大なのです。磁場は肉眼で見れるものではありませんし、低周波治療器のようにピリピリと感じられるものではありませんが、実際にご利用になられる方の大半の方が『安心して眠られる』のです。

我々のマッサージの考えも血行の促進であり、コリの改善ですので、バイオイザーとの共存が最も得策と言えます。なぜなら我々の手技は疼痛が顕著な方に対して強いアプローチが行えない弱点がありますし、筋肉の走行も幾重にもなっておりますので、深部に患部がありその筋肉操作を行う際に浅部の筋肉を疲労させてしまうのも弱点です。併せてデイサービス利用中では施術時間が20分程度と短いため、バイオイザーに手助けをして貰うことで、ご利用者様の満足度を向上させることが可能となります。バイオイザーとは長い付き合いですが、患者様、ご利用者様の人気も上々です。

また他の治療器と大きく違う点は電源スイッチのみのため、操作も簡単でありますし、故障も殆どありません。つまりはメーカーが磁気の何が体内に作用し効果を出せるかを理解し自信があるからこそ誰でも同じ効果を得られるよう個人設定を不要としているのだと私は感じています。これも創る側と使う側の信頼関係の元に成り立っているのだと思います。

余談ですが、私自身自宅にてバイオイザーの恩恵に預かる一人です。毎晩疲れを癒すために施術ベッドに横になり、主に腹部にバイオイザーを当て、全身のリラックスを行います。その後飲み水用にワインのボトルを利用してバイオイザーに当てた後に、冷蔵庫で冷やしたものを毎朝飲用しています。とても飲み易く体調も好調です。

我々治療師が常に健康であり続けることも、患者様、ご利用者様の健康を維持することに繋がると考え日々精進しています。

これからも、一人でも多くの方に実際にバイオイザーを体感して頂き、多くの方に健康を取り戻して頂きたいと思いながらバイオイザーを大切な相棒として、日々の施術と二人三脚でこなして行きたいと思っています。

平成25年8月1日

デイサービス天赦の里

センター長 米戸 仁司